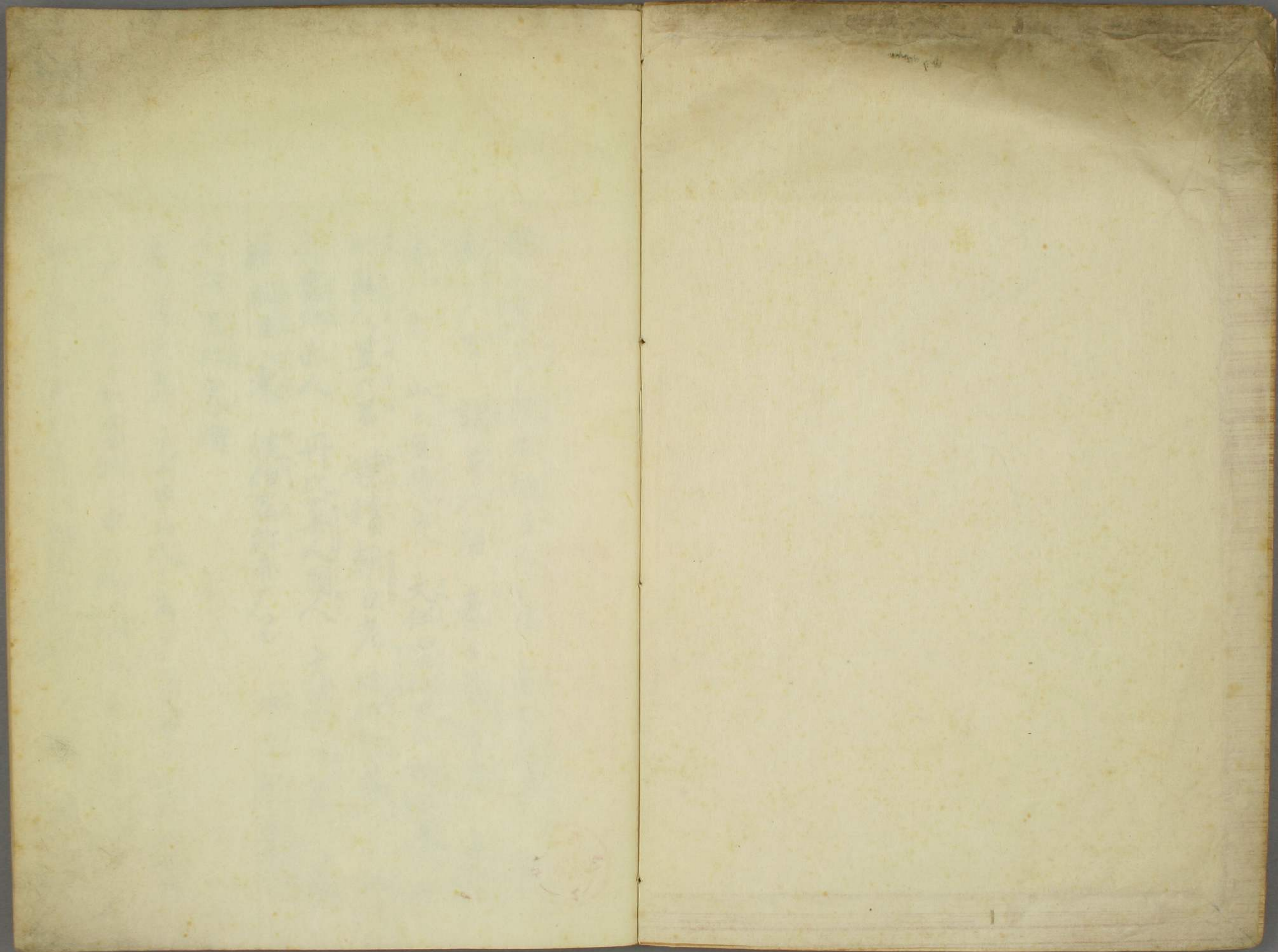




加波祢訓義
全

又 3
1638







間人連老 柿本朝臣人 高市連黒人 當

真人 廣呂 調首 淡海 春日藏首老 長尾

眞人 廣呂 山上 桓 憶良 大伴宿禰 田主 鴨 君 足 人 丹

比真人 笠 廣呂 穗積朝臣老 按作 村主 益人 山

部宿禰 赤人 丹比真人 國人 大伴宿禰 百代 藤

原朝臣 八束 佐伯宿禰 赤人 中臣朝臣 東人

大伴宿禰 家持

右八萬葉集に見申比人ノ名ニテ
ヨヲ付比ハ加波禰
ニテ比ハ加波禰ト申ス物ハ姓氏ニ付キテ其氏ヲ宗テ
申ス物ニ比ハ加波禰トハ柿本穗積ナドノ氏ハ朝臣ト

申ス加波祢ヲ賜ヒ高市間人ナトハ連ヲ賜ヒ當麻
丹比ナドハ真人ヲ賜ヒ大伴山部ナドハ宿祢ヲ賜ヒナド
スルガ如ク其氏ニ付イテソレク品ヲ別ケテ賜フ物ニモ甚
サテ此加波祢ト申ス物皇國ニ上代ヨリ有テ漢土ニハ
古今無キ物ニモ其ハマレニ當ヘキ文字ナリハ文字
ナキニ付テ古書凡ハ姓ノ字ヲコノカバ子ニ用ヒテ日本紀
續本紀ナドスベテ姓トテ姓ノ字ヲ用ヒテ其後世ハ
字ヲ用ヒ申シ加波祢ト申ス訓ノ義ハアガマヘナト申ス
意トシト加茂真淵ハ考ヘ置キルサテ日本紀天武ノ
卷ニ十二年冬十月己卯朔詔曰更改諸氏之族姓ヲ

作ハ色之姓以混天下万姓一曰真人二曰朝臣三曰
宿祢四曰忌寸五曰道師六曰臣七曰連八曰稻置
ト見エ申シ右ノ通り此御代ニハ八色ニ定メ玉ヒシ
ルニモ其サテ右ノ文ノ次下ニ守山公路公高橋公
云々十三氏賜姓曰真人一カクノ如クモ其ハ次オコ
公ノ姓ヨリ真人ノ姓ニ改メ玉フニモ其ハ又十一月
戊申朔大三轮君大春日臣阿倍臣云々池田君玉
手臣笠臣凡五十二氏賜姓曰朝臣トモ其ハ公臣
ナドノ姓ヲ朝臣ニ改メ玉フニモ其ハ又十二月戊寅
朔己卯大伴連依伯連阿曇連忌部連云々

五十氏賜姓曰宿祢ト也其連ヲ宿祢ニ改テ
也其又十四年六月乙亥朔甲午大倭連葛城
連云々并十一氏賜姓曰忌寸ト也其連ヲ忌寸ニ
改テ

八色ノ姓ノ詞ノ意ハ

○真人ハ真ト申ス言ハ物ノ足り備ハリタルニ申ニ
言ニテ全ク正シキヲ申ス言ニテ真人トハ崇美稱
テ申シ此詞ニ也

○朝臣續日本紀ニ阿曾美トカキル所モ也其
此詞ノ意ハ吾兄臣ト申ス義ニ也其也也申シ
ハ天皇ノ也方ヨリ親シト睡シト崇ヘテ意アル稱ニ
也其釋日本紀ニ朝臣ハ帝王相親之詞ト也其
サテ阿曾美ヲ朝臣トカキルハ朝廷ノ臣ト申ス意ヲ
含メタル義ニ也其也也申ス詞モ也也申ス

詞モ約レハ共ニあそみ成ル詞ナハ朝臣ノ字ヲ借リテ
カキルシ○何そんト唱へ申シハ音便ニテ也

○附テ申シ上ハ天皇ノ臣ヲ親シトテ阿曾ト詔ル

也所ハあそハ吾兄ト申スト同シ詞ニ也世ハ古事記

トヨノカカリ
ノトヨノカカリ

仁徳天皇ノ段ニ^{喜事記}ある時天皇豊樂ノ終ハん

トシテハ嶋小幸ノ時ノ終ハ雁卵ニシテ

故建内宿祢命トシテ^{コウカ}雁の卵生る

向ハ終へるその終ハ^{コウカ}あまのこもる内ハ^{コウカ}汝ニハ

世ノ長人^{コウカ}ろろみつ。やまのゆふ。雁^{コウカ}卵生^{コウカ}聞

内ハ^{コウカ}建内宿祢^{コウカ}世ノ長人^{コウカ}終ハん^{コウカ}雁^{コウカ}卵生^{コウカ}聞^{コウカ}

と小建内宿祢歌以て^{コウカ}あり申さく

高光^{コウカ}あまひる。日ノ皇子。諾^{コウカ}一こそ。向^{コウカ}終く真^{コウカ}こそ

向^{コウカ}終く我こそハ。世ノ長人。ろろみつ。やまのゆふ。

雁^{コウカ}卵生^{コウカ}。

右仁徳天皇ノ御歌ニ内ハ^{コウカ}トヨノ玉ハ建内宿祢

命ヲサシテノ玉ハ^{コウカ}我兄ト申ス詞ト同シ也

○宿祢 古書ニ足^{コウカ}屋トカキル所モ也世ハ^{コウカ}なえト申ス詞ニテ

少兄ノ義ニ也世ハ^{コウカ}日本紀私記ニ昔祢皇子ヲ為大兄又

祢近臣^{コウカ}為少兄也宿祢之義取於少兄也

なえヲ約ハ祢ニテリル。ト也世ハ^{コウカ}

なえヲ約ハ祢ニテリル。ト也世ハ^{コウカ}

なえヲ約ハ祢ニテリル。ト也世ハ^{コウカ}

なえヲ約ハ祢ニテリル。ト也世ハ^{コウカ}

なえヲ約ハ祢ニテリル。ト也世ハ^{コウカ}

○忌寸 イニキ 古書ニ伊美吉トカキル所モは世ノ詞ノ意イマタ考へやせむ

○道師 ミチシ ヲノ加波祢ヲ用ヒタル氏イマダ古書ニ見タラズ

○臣 オシ 大身ノ意ニ世ノ朝廷ニ仕奉ル人ヲ傍ヨリ

尊ミテ申ス称号ニ世ノ臣ノ字ヲカキハ主君ニ仕奉ル人ナレハ臣トハカキルおみト申ス詞ハ臣タル人ヲ尊ミテ大身ト

崇へ申スルニ世ノ

○連 ムラヌシ 群主ノ意ノ詞ニ世ノ一部ノ首長ヲ申ス称号ニ

世ノ世ノ主ノ意ニテ家主ニ戸母ナト申ス

附テ申上ル礼記王制ニ十國以為連連有師云々

注ニ合十國為連比有師以統之也ト世ノヨリテ

連ノ字ヲ用ヒタルベシト或人ノ説ニ世ノ

○稍置 イナキ 古書ニ稍寸ニカキタル所モは世ノ考へハ

世ノ貢ノ稍ヲ專ラ主トル人ヲ云ヨリテ

歛ト考へラレハ稍置ノ君ト申ス意ナルベシ

加波祢ト申ス詞ハ崇名ト申ス義ニ世ノ申上ルニツキ

あがまくと申ス詞ノ約リテカキル詞ニナリハ義ハ

マツアハ備極ト申ス詞ノ由ト申ス言ツマリテ

アハめトナリハ言ハ輕キ音ニテ畧除テ申シ例

故ニ「あがまへ」なノ詞が「な」トモ申サレハ「し」ソノ「え」ラベ「轉」シ
マタ「あ」ラバ「轉」シ「な」ラ「ね」ト「轉」シ「ハ」ラ「む」ト申ス詞ニ「ナ」リト
「る」ニ「は」サレハ

○「阿」ヲ「畧」キル例ハ「古事記」ニ「大穴年」違ノ神トカキテおほな
むちノ神トヨミ申シハ「延喜式」出雲風土記「姓氏録」ナド
ニモ「大穴」云トカキテ「於」ちな云トヨミ申シハ「和名鈔」信濃國地
名ニ「大穴」トカキテおほ「乃」トヨミ和泉國地名ニ「山直」トカキテ
「やま」直「ハ」伊勢國地名ニ「中跡」トカキテ「な」が「と」トヨミ申シハ
○「め」ラベ「轉」シル例ハ「和名鈔」伊勢國地名ニ「采女」トカキテ
「う」ね「ト」ヨシ申シハ「又」を「みな」べ「ト」カキテを「みな」め「ト」

唱^{トナ}へ上^{カシ}達^{トナ}部^{トナ}トカキテ「ん」が「ち」め「ト」唱^{トナ}へ申シハ「〇」ベ「ラ」バ「轉」シル
例ハ「殿部」等ヲ「のむ」ラ「上」ラ「ハ」海^{ウミ}ベ「ト」ラ「う」を「む」ト申シ
ハ「〇」ナ「ク」祈^{カガヒ}「轉」シルハ「和名抄」尾張國地名ニ「苗部」トカキテ
「あ」う「な」べ「ト」ヨシ申シハ「マ」タ「寢」音^ネ「ナ」ラ「な」ニ「通」ハセテ申ス
多^タク「は」サレハ「件」ノ如ク「は」サレハ「ハ」何「め」なノ詞が「ね」ノ詞
ナリハ「ト」申ス説ハ「聞」エル「コ」ト「は」サレハ

ツイデニ申上ル

○後世加波安^{カハ}祈^{カガヒ}「ア」ノ字ヲ用ヒル「續」日本紀十八「雀部」
朝臣^{アソシ}真人^{マヒト}名^ナニ「は」サレハ「等」が申セル文ノ中ニ「遂」絶^{ツク}
骨^{カハ}名^ナ之^ノ緒^{ツグ}云ト申ス文「は」サレハ「後世」ニ「ア」ノ字ヲ

タル^コニテ九夜ト十日トナリヌルヲソノ勤^{ツカ}仕ノサマヲ申シ
上テ卷^コ（奉^コル^ル）^コニテ右ノ夜度日度ノ例ハ万葉
ニ卷ニ朝宮云々夕宮云々同十三ノ卷ニ朝宮を^{アサミヤ}仕奉^{ツカ}して
同卷朝庭^{イテイテ}ヨ出居^{ユラニハ}而云々夕庭^{イリイ}ヨ入居^{イリイ}テ云々ナドモ世ハ
朝宮夕宮朝庭夕庭ナト皆勤^{ツカ}仕ノ場所ヲ申シタル物モ亦
庭ト申スモ場ト申スモ事ヲ行フ所ヲ申ス義ト申シハ
狩^ユラスル所ヲ狩場ト申シ方ヲ射ル所ヲ^ユ場ト申シ
此外ニ多ク申シ^コニテ世ハコレニ依テ毎^コ日^コ勤^{ツカ}出^ル
所ヲ日場^{カバ}ト申シ義ニ世ハ申上^コい^コね^コハ^コノ通音^{ニテ}
日場^{ハナ}名ト申^コス^コニテ世ハサテ加婆祢ト申シハ物ハ早ク

上古ヨリアル名目ヲ天武天皇ノ御代ニハ色ニ定メタル
ニテ世ハ^コ上^コ古^コニハ即チ官名ナトノ如ク用ヒタル^ナ新号^ニ
世ハ^コ日本紀推古天皇ノ卷ニ錄天皇記及國記臣連
伴造國造百八十部^{トモ}并公民^{オホミタカ}其^コ本記^ラマタ孝徳天皇ノ
卷ニ即位ノ儀ヲ記セタル所ニ百官^モ臣連國造伴造百
八十部羅列^{ヤク}逆拜^{トモ}ナドモ世ハ此外モ臣連伴造國造
云ニト申ス^コ百官^官人ヲ申ス語ニ世ハ^コ古事記^中臣
連^コ心部^コ首^コ猿女^コ詔^コ鏡作^コ連^コ王祖^コ連^コ大伴^コ連^コ久米^コ直^コ出^コ
雲國造^{クニミヤコ}无邪志國造津嶋縣直高市縣主^{アサミヤ}浦生^コ稻^コ
三枝部^{ミヤヅ}造^コナトモ世ハ皆ソノ職々役々^コ場所^ニ出^コニ

仕奉ルニ付テ申スノノ勤ノ名目ト思ハレハルノ事ハカノ
夜庭日庭ナド、考合セテカミを逢ハ日場名ト申スルノ
事付テ申上ルル事ハカノ

右、御前ニテ万葉侍講仕仕ルノ事付テ後ハカミ見氏御次ニ奉立二冊
後又思ハレハル一説アリ

統日廿九ノ神護景雲三年五月ノ詔文部姉女ヲ内ツ
奴ト為テ冠位奉給ヒ根可婆祢改給ヒ治給ヒキ
五ノ四十一第百三詔トアリ四十三丁凡テ根トハ人ヲ崇ル
ル事祢ヲ可婆祢トシテハカミト重ナル事ナリ
改給ハル事トシテ文部ノ事ナリ

カブツク記傳
三十三丁六丁

大平按フニカハネハ株根ト云フナルハカブハカブ都久頭伏
カブカブ頭ト云フカブフルト云頭椎之太刀久夫
都、伊紀本竹園輔且智頭椎釵算奈疏ト頭椎者釵首
如槌也トアリ右ノ如クニテカブトト同言ト頭ト株ト
一ツシ和名抄木具ノ部ニ根株子ト云セ右ノ事ナリ
付テカハネハ株根カ株名ニテ一株ト身分品色別
ナルヲ云テアト株 スク子株トワカレアルヲ云名目ニモヤ
アラント思フシ

舟形君株 出雲國造株 津嶋縣直株 額田部湯坐連株
高市縣主株 浦生稻寸株 三枚部造株 中臣連株

忌部首株 猿女君株 阿多君株 穂積臣株 山邊之
 別株 葦田宿祢株 輕部朝臣株 伴如君國造
 直連 縣主 稻寸造 首臣 別宿祢朝臣ナト、
 カバ子ト云号ヲ賜フハ其氏々ノ中ニ頭ダチ長名人々ニ
 賜フコシ古史ニ載セタル人ハイツレモ其氏ニ中ニ
 頭長タル人ノミ出タルニコソアレ其氏々悉盡カバ子
 ニアラスカバ子ヲ賜ハ父分際ノ氏々幾千カバ子ヘ
 カタク有ルシソレハ後世云五位以下ノ如ク史ニ不載ラシ
 事アル時ハマレク載セラレタルモアリソハカバ子ナキ分際ニシ
 サレト百姓家人トイハレ史ニノルホトリ者ハ大カタモトカバ子ヲ

賜レル人ノ子孫モアルベキニ如件ニテカバ子ハ株名ト
 云フナルヘ根株名ト云根ハ即株ト云言ニオノツカラ
 コモレハ株名ト云テ根株名ト云フニナル
 山宗敬名モマハリクドク日度名モコトヤウシ奇説株名
 ト云ゾ平穩ニテヨク叶フヤウシ

○氏

宇ハ居シ治ハ津シ道ニキテ所處ニ氏ハ居處ニ
 ウ之等 從之等 屋之等 腹之等 コノウガラノウモ居シ
 居ハ家居 宮居ノ居テ安置ノ置ノ意 鎮置ノ意アル

